

アメリカ：コロラド州立大学(CSU)

葭江芳夫・澄子（豊島区）

滞在期間：2011年3月27日～5月14日（49日間）



コロラド州立大学の門の前で

1. 特殊な状況

3月11日の東日本大震災後の出発でしたので家族の事を考えるとアメリカに行くことに逡巡しましたが、アメリカの中西部に行く好機だと思い、思い切って夫婦でコロラドに出発しようと決断しました。CSUでは学年末ということで沢山の行事があり、退屈することなく大いに楽しむことができました。驚いたことにCSUにおいて日本の災害に対し、アメリカの学生を含む多くの学生たちがいろいろな形で募金活動をしていました（Tシャツの販売等々）。また、CSUの日本語教師であるベーケン先生が3月末から4月14日まで日本に緊急帰国されていて、2人の日本人教師（浦先生・瀬田先生）がベーケン先生の授業の代りをされていました。

2. 気候

フォートコリンズの緯度がほぼ北海道と同じであり、3月、4月は寒い日が多かったのですが、気温は朝は3度前後、晴れば午後には20度を越し、紫外線が強いという内陸型の天候でした。ただ、風が吹いたり、曇りの日や雨の日は気温が上がり、ジャケットが必要という毎日でした（レイヤード・ルックが最適）。

3. CSU

キャンパスが大きく、その校舎の数も多いのですが、野球、サッカー等の運動場の数・施設とも素晴らしく学生たちが羨ましく感じました。

学生たちの様子：

ジーンズと重そうなバックパックが基本。寒い日でもビーチサンダルの女学生。アメリカ娘の真骨頂を見た。自転車通学も多く、右足の裾をまくり上げて自転車に絡まないようにしている。大学のロゴの入ったパーカーやTシャツを多く着ていた。

日本の女学生とは全く異なり、おしゃれには頓着せず、毎日同じジャケットを着てくる女性もいた。概して真面目な学生が多く、好感が持てた。コロラドの人の特徴は礼儀正しく、かといってフレンドリーかと言えばちょっと違う感じがした。

日本語クラス：我々がボランティアをするクラス

冒頭、先生達が我々を「よしお先生」「すみこ先生」と学生に紹介したので驚いた。1年生が2クラスで総勢37名、2年生が24名、3年生が20名。4年生が6名。合計5クラス、87名の受講生がいた。月曜から木曜の4日間、1日2時間から3時間の授業に参加した。金曜日はテストが多いそうで先生方からフリーにいただいた。どのクラスも当番のあいさつ「今日は平成何年何月何日、お天気は・・・。よろしくお願ひします。」から始まって終りも「これで日本語のクラスを終わります。礼！ありがとうございます」と、なぜか昔の我々の小学校の授業を思い出して嬉しく感じた。

授業内容：

- * 1年生は文法主体で動詞の変化等々。学期末に行ったので学生達の学力の差が歴然としている。
- * 2年生はジャパンカップの競技会があるため、気合いが入っていて優秀な学生が多かった。主として尊敬語と謙譲語の違いを勉強。なかなか日本人でも難しいことをやっている。
- * 3年生も優秀な学生が多かった。授業内容は「くだけた日本語の使い方」（例：マジ？フーンとか）
- * 4年生はできる学生が2名。あとの4人は3年生・2年生の優秀な学生に及ばない。授業内容は「日本人の心の機微」（例：恥とかメンツ）について討論形式で行う。

ボランティア：

基本的にはクラス内では日本語を使用するので誰にでもボランティアが可能。時々、英語で質問があるが英語ができなくても問題はないと思います。主に会話の相手になるお手伝いとか誰にでもできる内容です。

その他:

書道教室が水曜日の午後4時から1時間。カミさんが応援していました。「J-E ラウンジ」隔週月曜日の午後5時から約2時間。日本人のIEP学生も参加したりしていた。いわば日本語授業の補講の感じで宿題のお手伝い。「JAPAN-CUP 大会」のお手伝い。時には午後5時から8時までに及んだ。4月中旬にデンバーで行われるコロラド州で日本語を学ぶ高校生・大学生の日本語及び日本についての知識競技大会。この応援はとても楽しかった。3年生、4年生が出場する2年生を叱咤激励しながら指導している。まるで一つのチームであり、日本ではあり得ないボランティアだ。

「ごはんタイム」隔週金曜日の午後4時半から日本レストラン「ごはんタイム」に2年生を中心として3年生、4年生が集まり、日本食を食べながら日本語の会話を楽しむという会。英語も飛び交うが学生と距離を縮めるには絶好の機会だ。



学生たちとの書道教室

4. 3月27日到着以降の各種行事

学年末ということもあり、実にいろいろなことがあり楽しかった。

3月29日(火) 午後3時からボルダーにあるコロラド大学へ授業参加。筑波大の先生が「落語」を題材に授業していた。

4月1日(金) 午後8時からCSU内のLSCで学生による「日本語カラオケ大会」。1年生から4年生まで出場。最近の早い歌をみんな上手に歌っていた。我々夫婦も審査員として出場。1年生のゴメスさんが優勝。

4月2日(土) CSU内で「GATEWAY TO ASIA」のフェスタ。茶道・花道・書道等々日本文化の紹介

4月15日{金} WSCメンバーの岡本えりこさんの紹介でGLOBAL VILLAGE MUSEUMの「SPLENDOR OF JAPAN」のオープニングセレモニーに参加。フローラさんとの交流と岡本さんへの感謝。

4月16日(土) デンバーでJAPAN-CUP CSUの2

年生が優勝・準優勝。厳しい勉強と3年生・4年生の応援で他校を圧倒。連続優勝。祝勝会・・・デンバーでのCSU関係者50名での祝勝会が実に面白かった。食べ放題の寿司(1人\$20)だったがその食欲には驚かされた。何個、食べたんだろう?? \$20は彼らには非常に高い金額だ。

4月19日(火) 午後7時からCSU内のMOBY ARENAでライス元・国務長官の講演を聞きに行く。テーマは「アメリカの今後の方向と教育」について一般市民も多く、大学が日本と違い、地域に密着している。

4月26日(火) 同場所で行われたバレーボールの試合見物。CSU対中国・天津のプロチームの試合だったがレベルが低かった。午後7時から。

4月27日(水) GRIFFIN CONCERT HALLでクラシック卒業記念演奏会。ベーケン先生に誘われて参加したが学生の演奏にしてはレベルが高い。マーラーの第5交響曲。4年生の学生が第2バイオリンを弾いていた。

4月29日(金) 午後3時からCSUで優秀学生表彰式に参加。その際、我々も感謝状をいただき感激。この感謝状の意味は前述の特殊事情によるものと思います。

4月30日(土) ワイオミング州シャイアンヘグレイハウンドバスで。超寒かった。「シャイアン」という町がすぐそばにあり、どうしても行きたかったが地元の人は車がないと行けないと言っていた。何度か案内所に足を運び、バスが出ていることを確認。

5月7日(土) ロッキーマウンテン国立公園・エステスパークに学生達と。ごはんタイムで集まった時に学生にロッキーマウンテンに行きたいんだ!と話したら快く連れて行ってくれた。素晴らしい景色に感動。

食事:

ハワイで4年間、暮らした経験もあるが、日本食にはそれほど未練はなかった。(でも、お昼は大体、カミさんが作ってくれたオニギリを食べていました)

それよりも大いにアメリカの食事を楽しもうと、スーパーによく買い物に出掛けた。日本食は階下の「イースト・ウェスト」というお店で買えるのだが結局、今回は一度も行かなかった。大学の前にある「セレスティノ」というピザ屋さんにも何度も通った。実に安く美味しい。そして今回は「チーズステーキ」という食べ物にハマった。その他、外食も何度かしたがオールドタウンにある「オースティン」とかバー「クーパーズ」はアメリカ的でとても好感が持てた。

毎週・金曜日のゴルフ：

毎週金曜日にはバスに乗って夫婦でゴルフに行った。CITY PARK NINE という 9 ホールのゴルフ場だ。バスの発着時間を調べておけば、帰りもほぼ時間通りバスが来るので安心。シニアは 1 人 \$ 12. 散歩がてらにゴルフをするにはうってつけのコースだ。

市内見学：

ビール工場見学、オールドタウン、フットヒルズ・モール等々バス・徒歩でいろいろと楽しめた。

5. 雑感と本音

- ★ カミさんと 24 時間／55 日、行動が一緒に最初は少々疲れた。「健康が一番」を痛感した。
- ★ CSU の先生方がとても親切で楽しい時間を持つ

ことができた。

- ★ 自分から行動すればいろいろな楽しみ方ができると感じました。受け身だったらこの町（フォートコリンズ）はあまり面白くはないかも？
- ★ 日本円が相変わらず、強い。1 ドルは今、80 円前後だが、実際はもっと大きな威力がある。特に食事に行くとその強さが良くわかる。食事は大体、1 人 5 ドルから 8 ドルで充分だ。\$20 の食事は、彼らは非常に高く感じている。
- ★ 車が欲しかった！FOCO にはあまり中古車の販売やレンタカーが見当たらず、今回はカミさんの意見を聞き、車を断念し、バスと徒歩で FOCO の色々な場所を回ったが、特に買い物には少々、疲れた。もし、車があれば週末にカンサスやワイオミング、ネブラスカ等々行けたのに。次回行くチャンスがあれば車を確保したい。